

 山陰中央新報

# デジタルデータ 入稿ガイドライン

【改訂版 第8版】 2023年10月

- ※1、2、4、5ページ：総インク量（UCR）変更
- ※3、5ページ：画像解像度（CMYK、グレースケール）変更
- ※6ページ：出力線数変更（線数変更は2023年11月26日掲載分より実施）

山陰中央新報社

ビジネスプロデュース局 編成部

## 【データ入稿における注意点】

入稿されるデータは、イラストレータまたはインデザインで作成された N—PDF (PDF) データです。これを RIP (二値化：網点化) 処理し、組版工程 → 印刷工程という流れとなっております。

従って、うまく RIP 処理ができない場合、作業不能となります。これはデータ作成時に使用してはならない機能で処理が行われたことが一因として挙げられます。

- 1、Illustrator での作画機能は CS2 までとしておりますので、CS3 ~の新しい作画機能は使用しないでください。  
※意図と違った出面あるいは出力不能となり、データを直しての再入稿が必要となります。
- 2、最新の Illustrator では、黒以外のオーバープリントも可能となっております。特にホワイトオーバープリント。弊社入稿データは、全てにおいてオーバープリントは禁止しています。

### チェック内容

チェック内容	
1	バウンディングボックスのサイズが指定通りかどうか
2	クリッピングマスク処理がされているかどうか ※広告枠外の物のカット
3	フォントが埋め込み・アウトライン化されているかどうか
4	配置画像の拡大・縮小率は許容範囲内かどうか
5	配置画像の解像度は許容範囲内かどうか
6	配置画像の圧縮はされていないかどうか
7	photoshop でトランスファー関数の埋め込みがされていないかどうか
8	photoshop でクリッピングパスの平滑度が許容範囲内かどうか
9	photoshop で ICC プロファイルの埋め込みがされていないかどうか
10	photoshop でハーフトーンの埋め込みがされていないかどうか
11	Illustrator でレジストレーションカラーが使用されていないかどうか
12	Illustrator でライダー作成ファイルが設定されていないかどうか
13	Illustrator でプリンタの初期設定値が使用されているかどうか
14	Illustrator で線の太さは許容範囲内かどうか
15	修正版が存在する Illustrator で作成されていないかどうか
16	Illustrator でオーバープリントが設定されていないかどうか
17	Illustrator で RGB オブジェクトが使用されていないかどうか

## 入稿規定

### ◆入稿締切（土・日・祝・振替はカウントしません）

モノクロ／掲載日の2日前 午後2時まで  
単色（合成）／掲載日の2日前 午後2時まで  
カラー（4C）／掲載日の2日前 午後2時まで

### ◆入稿原稿内容

- モノクロ原稿（スミ1色）、カラー原稿の色別は問わない。
- 単色の場合、特色インク（OP）使用は不可。必ず合成色とする。  
合成色は掛け合わせる色の比率を（濃淡）守ること。
- Illustratorでの作画機能レベルはCS2までとする。  
CS3～での制作は可能ですが、CS2以上での新しい作画機能は出力検証がされていないため使用しないで下さい。
- CMYKの色指定・画像の総インク量は240%を超えない。
- 弊社ではモノクロ広告のスミベタ領域は、広告全体の3分の1迄と定めています。  
3分の1以上の時は、その領域に網を入れてください。網%は85%迄とする。

### ◆データ入稿

- 1、基本的にはメール入稿です。
  - ・イラストレータまたはインデザインで書き出した「N-PDFデータ」のみ入稿。
  - ・データ名は、掲載日+件名（クライアント名）を必ず入れる。  
例：2月1日付 山陰中央 → 「0201 山陰中央」
  - ・ウィルスチェックを必ず行う。
- 2、CD・DVDの媒体での入稿も受け付けている。
  - ・必ずMacフォーマットであること。Windowsフォーマットは受け付けません。  
また、必ずハードケースに入れて入稿すること。
  - ・基本的にCD・DVDは弊社で処分します。返却が必要な場合は「要返却」と明示して下さい。
- 3、出力見本、入稿チェックシート  
メール入稿の場合は、掲載日の明記された最終ゲラを画像化（pdf・jpg）し、「N-PDFデータ」と一緒に添付。  
媒体（MO・DVD）入稿の場合、カラー・モノクロ広告に関わらず原寸サイズの最終ゲラに掲載日を明記し、データと一緒に入稿する。  
※最終ゲラの枚数は、カラー・モノクロ共に2枚必要。
- 4、都会地等、広告の清刷り（色見本）は、1枚を製作センターに送るため3枚必要。
- 5、弊社では誤字・脱字等間違いの修正は基本的には行なわず再入稿となります。  
掲載日等やむを得ない事情がある場合、修正に応じる事もあります。この時、別途料金（P9参照）が発生します。

## データ制作について

一般社団法人 日本広告業協会  
新聞広告デジタル制作・送稿ガイド「N-PDF ver.1.3(2022)」  
[https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n\\_pdf/](https://www.jaaa.ne.jp/2012/06/n_pdf/) で検索

### ◆Mac 制作環境

#### □フォーマット

Mac 版 illustrator または InDesign から書き出した N-PDF 形式。

PDF の書き出しは Acrobat Distiller や、その他のアプリケーションから PDF を作成しない。

#### □使用システム

Mac OS X (Mac OS9・Windows は使用不可)

#### □アプリケーション

下記の Mac 版ソフトを使用する。※最新のバージョンにアップデートする。

●Adobe Photoshop Cs2 以上

●Adobe illustrator Cs2 以上

●Adobe InDesign Cs4 以上 (モノクロ原稿は使用不可)

●Adobe Acrobat Pro9 以上 (Acrobat8 以下は使用不可)

※各アプリケーションとも制作機能レベルは CS2 までとする。

#### □ウィルスチェック

原稿ファイルに対してウィルスチェックを必ず行う。

#### □データ圧縮

原稿データを圧縮ソフトで圧縮しない。

#### □ファイル名

掲載日+件名 (クライアント名) を必ず入れる。

※例: 2月1日付 山陰中央 → 「0201 山陰中央」

#### □データ量

原稿のデータ量は 400MB 以下にする。

#### □プリフライト

作成した N-PDF は、Adobe Acrobat Pro で既定の【プリフライトプロファイル】を用いてプリフライトを実施し、不備のない事を確認する。

### ◆制作段階での留意点 (illustrator での制作機能レベルは CS2 までとする。)

※透明効果・ぼかし・ドロップシャドウ・グラデーション・罫線パターンは出力検証がされておらず不具合・出力不能等が起こる可能性があるため、この制作機能は CS2 までに留める。

※当面使用しない機能としてエンベロープ、グラデーション (円)、グラデーションメッシュ、スタイライズ、SVG 効果、不透明マスク、3D 回転、3D 回転体。

※CMYKの総インク量は240%を超えないようにする。

## ◆制作上の注意点

### Illustrator

#### 1、原稿サイズとバウンディングボックス

Illustrator データは、バウンディングボックスがそのまま原稿サイズとして認識されます。このため広告罫の外側のトンボ、注釈、色玉、孤立点・ガイドライン（アンカーポイントが残る）など**不要なオブジェクトは削除**して下さい。（バウンディングボックスが肥大化するため）

※クリッピングマスク処理を必ず行い入稿サイズを確認する。

2、テキストオブジェクトのベースラインやテキストボックスを広告サイズより大きくしないでください。（バウンディングボックスが肥大化するため）

3、Illustrator のカラーはCMYK、モノクロはグレースケールで処理する。

カラーパレットでのRGB、HSBなどのカラーモデルは使用不可。

4、デフォルトでスウォッチライブラリに登録されているスポットカラー、スウォッチライブラリ内の複雑な背景オブジェクトなどは余分な版の増加を招く恐れがあるため使用不可。 ※CMYK、グレースケールで作成する。

5、グラデーションメッシュ、グラデーション、カラーブレンド機能を使用したオブジェクト等は、原則的に eps 画像に変換してから配置するか、掲載実寸で200dpi～300dpi程度の解像度でラスターサイズして配置して下さい。特にアウトライン文字にグラデーションを設定したオブジェクトに対して、ブレンド機能を使用した場合は**必ず画像データに変換し配置する**。（トーンジャンプや出力エラーにつながる為）

6、原稿サイズは数字で正確に入力。

罫線設定は外側から内側への線幅設定とし原稿サイズとする。（図2参照）

7、オーバープリント、トラッピングの設定は制作意図に反した結果に繋がるため使用不可。

8、不要なレイヤーは削除する。

9、オブジェクトのロックはしない。またグループ化は極力少なくする。

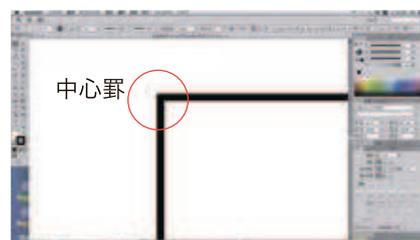
10、全ての**フォントは必ずアウトライン化処理する**。

※弊社RIP側では文字を持ちません。アウトライン化未処理のデータは出力不能（エラー）となります。

11、広告枠（囲み罫）は、必ずillustratorの線種で（線幅外から内）作成してください。

※中心罫で制作すると、線幅分広告が大きくなります。

（図1参照）



【図1】



【図2】

## ◎画像配置

- 1、illustrator での画像・素材の配置方法は、埋込処理とする。
- 2、画像データは最初に Photoshop で適切な大きさ・範囲にトリミングする。  
Illustrator では、クリッピングマスク処理によりトリミングする。(画像の余分なところを白地のオブジェクトで覆い隠すと、バウンディングボックスが肥大化し広告サイズが変わる)

## Photoshop

- 1、CS2 以上のバージョンの場合、CS3 ~の新しい機能は使用しない。
- 2、ファイル保存は eps 形式を使用し、画像圧縮 (jpg) はしない。  
※DCS、P O I 方式での保存は不可
- 3、カラー画像の ICC プロファイルは、Japan Collor2 0 0 2 Newspaper に設定する。
- 4、プレビューは Macintosh (8bit / pixels) 設定。
- 5、エンコーディングはバイナリー形式で保存。
- 6、ハーフトーン情報、トランスファー関数、カラーマネージメント (プロファイル) は使用不可 (埋込はしない)。
- 7、ロゴ・マーク等のモノクロ 2 階調データは、解像度 800~1200dpi 程度の eps 形式で保存。
- 8、カラー画像は、CMYK モード、モノクロ画像はグレースケールモードを使用。  
RGB モードは使用不可。
- 9、スキャニングする際は、適正解像度をレイアウト原寸で分解する。レイアウト上での拡大・縮小はピクセル (画素) に影響を及ぼし、モアレが出やすく印刷のクオリティが著しく低下します。  
**※写真分解時の U C R 値は 2 4 0 % までに抑える。**

## ◎画像処理

- 1、新聞印刷では、実際の網点が原稿の網点より太ります。この現象を「ドットゲイン」といい、写真は暗くなり、色が濁ったりします。  
処理する写真により設定は異なりますが、まずハイライト (どの部分まで飛ばすか)、シャドウ (どこからベタにするか) を設定します。そして、中間の調子は明るめに設定します。
- 2、画像の色調整はモニター画面での色具合ではなく、網%の数値で処理を行ってください。

3、**総インキ量を240%**までに抑える方法として、カラー画像の ICC プロファイルを JapanCollor2002Newspaper とし、新聞用 CMYK 画像にすることにより UCR を抑えることができます。

・ RGB 画像時

カラー設定の CMYK を JapanCollor2002Newspaper に設定し、RGB を CMYK に変換する。

※この時、「ICC プロファイルが違います…」と出るが「OK」とする。

・ 他用途用に処理した CMYK の画像の総インキ量を抑える方法として、ICC に JapanCollor2002Newspaper を設定し、「CMYK → RGB → CMYK」に変換する。

4、**モノクロ画像**は、元データが **RGB モードの場合グレースケールに変換**して下さい。

・ ハイライト、シャドー点を以下のように設定します。

ハイライト点：6%      シャドー点：85%

・ トーンカーブの調整

アンダー（暗い）写真：トーンカーブを削って調整して下さい。

オーバー（明るい）写真：トーンカーブを盛って対応して下さい。

・ シャープネスの調整

アンシャープマスクで輪郭強調を行います。

※新聞印刷では、シャープ感が出にくいため強めに調整して下さい。

※Photoshop eps で保存する。

5、**カラー画像**は、元データが **RGB モードの場合、RGB で処理後に CMYK で保存**して下さい。

・ ハイライト、シャドーを以下のように設定します。

（例えば）

ハイライト点：C4%、M2%、Y2%      ※原稿により異なる

シャドー点：C70%、M65%、Y65%、K40%      ※原稿により異なる

**※総インキ量（UCR）は240%までに抑えます。**

・ トーンカーブ：特定色域調整では原稿により調子がまちまちのため、原稿に応じた調整をします。

・ シャープネス：アンシャープマスクで輪郭強調を行います。

※新聞印刷では、シャープ感が出にくいため強めに調整して下さい。

※Photoshop eps で保存する。

6、**画像解像度は250～350dpi**を推奨

7、画像データは Photoshop で適切な範囲にトリミングしたものを配置する。（トリミングされず、隠れている範囲が大きい画像を配置したファイルは不必要に重く、マシン・出力トラブルを招く原因になる）

## InDesign

※月極広告は、以下の作業でデータ入稿をしてください。

1、基本的に Illustrator での作成データ (eps) を配置し、N - PDF で書き出す処理を行います。

※Illustrator で広告データ (月極広告除く) を作成し、N - PDF 保存すれば InDesign での処理は必要ありません。

2、InDesign で文字の入力はしない。 ※InDesign ではアウトラインがとれません。

3、弊社システムではドキュメントサイズを広告サイズと認識します。

新規ドキュメント → ページサイズ (広告サイズ) を正確に作る (数値入力)。

※広告サイズは、弊社広告サイズ表を参照。

4、長方形フレームツールで画像ボックスを作る (ドキュメントサイズと同数値)。

5、ファイル → 配置 (Illustrator アウトライン eps を配置する)

6、オブジェクト → オブジェクトサイズの調整 → 内容をフレームに合わせる

※線幅に注意。Illustrator での「囲み罫について」を参照。

7、N - PDF 保存

ファイル - PDF 書き出しプリセット - N-PDF 選択

### 【その他】

弊社 RIP 設定及び画像処理・解像度

1) 画像解像度 1200dpi

	2023年11月26日掲載分まで	2023年11月27日掲載分から
2) 出力線数 (変更あり)	モノクロ 106線/インチ	200線/インチ
	カラー 120線/インチ	290線/インチ

アミ形状 Euclidian 幾何学形状混成ドット

◆ご不明な点はビジネスプロデュース局編成部へお問い合わせ下さい。

TEL0852-32-3365

FAX0852-32-3363



**【広告サイズ表】** (本紙掲載分) <単位：ミリ>

段 数	天 地 (縦)
1	31
2	66
3	100
4	134
5	169
6	203
7	238
8	272
9	306
10	340
11	375
12	409
13	444
14	478
15	513

幅 (横)		幅 (横)	
全 幅	378	5 分の 1	72
2 分の 1	187	6 分の 1	61
3 分の 1	124	8 分の 1	45
4 分の 1	93	16 分の 1	21

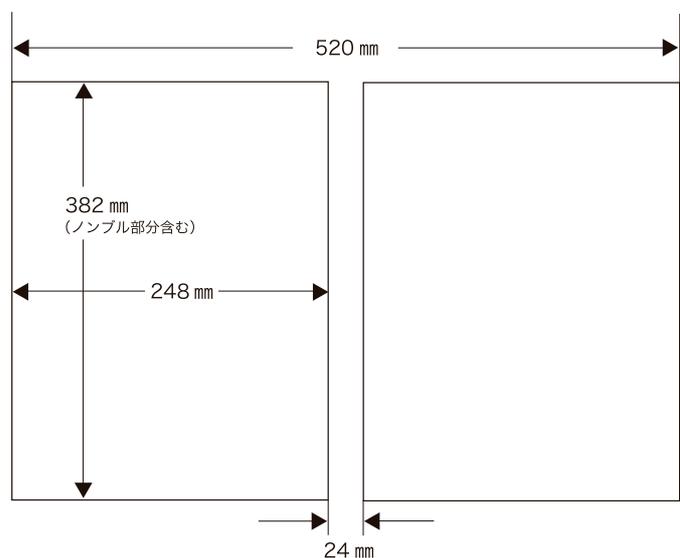
完全見開き	780×513
1 面題字横	70×31
ローカル面題字下	25×64
突 出 し	52.5×66(100)
新ラテ豆	40×9
ラテ豆大	89×13
ラ テ 帯	18×203
ラテ面表札	38×115
1 面天気上・下	50×21

※この他のサイズはcm単位での申込みとなります

**【タブロイド版サイズ】**

※縦サイズは、ノンブル部分を含んだサイズです

※ページ間隔は 24 ミリです



## 修正時の別途料金表 (税込み)

作業内容	モノクロ		カラー	
再入稿 (1 件)	1, 100円		1, 100円	
文字訂正(1 カ所)	3, 300円		5, 500円	
サイズ変更	3, 300円		5, 500円	
indd 貼付け	3, 300円		5, 500円	
カンブ出力	1, 100円	3, 300円	3, 300円	5, 500円
写真分解 (1 点)	1, 100円		1, 650円	

※全ての作業内容とも、弊社での処理が可能な場合に限りです。

## <入稿締切表>

### データ入稿締切

モノクロ	掲載日の	2 日前	午後 2 時
カラー	掲載日の	2 日前	午後 2 時

### EDI 入稿締切

モノクロ	掲載日の	2 日前	午後 2 時
カラー	掲載日の	2 日前	午後 2 時